

経営戦略 (成長シナリオ)



株式会社 TBグループ

【C】成長シナリオ…環境事業領域＜外部環境＞

＜コアであるLED専門メーカーのリソースを最大限活用します＞

＜外部環境＞

- ①料飲食・サービス業を主力市場とするが、既存のローエンドクラスは**構造不況業種**であり、特に地方の倒廃業が進んでいます。現行LED表示機／レジスター不振の主因は、市場縮小と販社倒産にあります。
- ②ミドル層の料飲食・サービス業は、外食チェーンの倒廃業もあるがダイナミック性は今後とも続きます。ファストファッション（アパレル系）は、明暗2極化しています。LED照明／デジタルサイネージ導入ニーズは急速に高まり、また**消費税導入決定**により新たな販促が求められています。市場規模220万軒におけるミドル層とローエンド層、約200万軒をターゲットとします。

＜業種＞

①コンビニ／スーパー

②大型外食チェーン

A: 5%

③アパレルチェーン

④外食チェーン

B: 24%

⑤個人店舗

⑥サービス業

C: 70%

【C】成長シナリオ・・・環境事業領域

強味であるLEDコントロール技術と高品質を活かし
3E (Easy／Emergency／Economy)をR&Dのコンセプトとします。

1) チャレンジ1 (2012年7月に3機種12モデル新発売)

屋外対応モデル

■ 19インチ液晶！

LEDだから目立つ。
液晶だから伝わる。

BRID III
ブリッドスリー



スマートフォンでカンタン入力！

■ 業界初！ネット・アプリ不要！

スマホ・タブレット連動型



スク！入力
スマートに！表示



■ タブレット iPad 200万台
■ スマホ iPhone/Android 1000万台
(国内)※当社調べ

2) チャレンジ2

2-1) 商材の概要

(イーゾーオーダー方式によるLEDディスプレイ)

- ①表示機のサイズおよび文字数等を、予めラインナップ化して事前準備しておき、受注後2週間で完成品にするシリーズです。各々のモジュールに、独自のデザイン等に使用できる飾り球およびセンサー等の顧客が楽しめるトッピングができる方式です。
- ②軽量化を図り、取り付け／取り外しが簡単なタイプとします。



2-2) 店舗需要のストックとフローの両タイプにチャレンジします。

- ①買い替え需要は、LED照明群も含め販売します。価格は、「軽」市場レンジとして従来モデルの1/3を検討しています。
- ②店舗組み込み型(ストック)販売チャネルを重点開拓いたします。住友化学(株)／(株)アルファクス・フード・システム(JASDAQ上場)等との経営協業を強化し「リース／レンタル」「ESCO」等の販売方式とします。
- ③需要期となる秋以降に本格導入を目指します。

EOLS (Easy Order Led Signage) (イーゾー オーダー LED サイネージ)

文字パネルを組み合わせる！
文字サイズ・パネル数を選んで！

新世代薄型LED光源 イルミフェイス
発光サイズ・パネル数を選んで！
目に優しいLED光源

自由設計が可能

住友化学 TBグループ

Made in Japan Quality
Made in Japan Value
ILLUMINACE

「来て！見て！触れて！」
1) プロショップ
2) LED商品群 500点展開
3) ソーラー／バッテリーも展開

LED工房
www.led-koubou.com
(8月名古屋リニューアル)

3) チャレンジ3

2012年3月のリテールテクノロジーで好評を得た“電子レジスター”+“デジタルサイネージ”+“電子マネー”を融合した「サイネージ券売機」を発売いたします。

集客・誘客

25年に渡る20万台の販売実績
シェアNo.1



富士キメラ総研 総調査2012
システム販売/構築
サイネージ事業者部門



デジタルサイネージ

屋外専用液晶テレビと
LED表示機シリーズ



レジスター

- ・レジスター専門メーカーノウハウ
- ・累計35万台の顧客基盤



グループ資源を結集!!



ICカードソリューション
病院プリカシステム
トップシェア

病院向けICカード導入実績あり

「券売機」が進化しました。

「デジサイ券売機」



【C】成長シナリオ・健康/観光事業領域＜外部環境＞

＜外部環境＞

1) 健康・医療領域

65歳以上が4人に1人(約2300万人)となり、今後更に団塊の世代が加わり急速に増加します。健康・医療分野は**成長市場**としてこれからますます拡大します。

2) 病院／診療所／介護業界の直近関心事は、地デジ移行特需後のデジタルインフラを活用したe-ブック／e-コマースなどのコンテンツビジネスと、LED照明等の導入による**省エネ対応策**です。また、厚労省はセルフメディケーション等による健康指導およびジェネリック薬品等の普及により毎年1兆円規模で増加する**医療費の圧縮**を最重要政策にしています。

3) **ホテル／旅館**における直近の関心事は、外国人(特に中国／韓国)の誘客作戦、デジタルTV活用による**e-コンテンツ事業**と電気料金高騰、地震台風等の天災時の対応等、**省エネと安全対策**に高いニーズがあります。

【C】成長シナリオ…健康／観光事業領域

1) チャレンジ1

病院・診療所・歯科クリニック・犬猫クリニック(約18万軒)を対象に、**LED照明／EN情報システム**をグループ会社を通じて本格販売します。

※**病院診療所向けEN情報システム**は、緊急情報＋医療情報＋シニア向け新幹線スタイル情報表示＋災害ベンダー＋ヒーリングビジョン(癒しの情報テレビ))の内容となります。

2) チャレンジ2

ホテル・旅館を対象(約5万7千軒、約156万室)にして、子会社(株)オービカルとホテルVOD業界で有力シェアを持つ企業と経営協業し、**LED照明／EN情報システム／電子新聞／e-コマース**等の拡販を行います。

3) チャレンジ3

アジア領域における**医療ツーリズム**事業を試行します。(株)ホスピタルネットが取り組んでいるMRIおよびP.E.T等の健康診断と、ホテルおよび民間大学病院とPT(プロジェクト)をつくり、アジアの富裕層を中心とした診断－治療－データ管理をソリューションビジネス化して、来期以降の成長シナリオに布石を打ちます。

＜2012.6.15日刊工業新聞記事＞

自販機 “地域の掲示板に”

日本自動販売機工業会(自販機工業会)は、新たな社会インフラに位置付けるための、新たな活用方法の研究をすすめる。日本での自販機の普及台数は2011年12月末で約508万台。新たな「社会インフラ」として活用し、自販機の機能拡張につなげる。スマートフォン(多機能携帯電話)の急速な普及と共に、自販機に情報発信機能を付加して、地域の掲示板にすることを検討する。

業界団体が研究

500万台のスマホで情報ゲット
新社会インフラ

すでに業界では災害時の告知機能の搭載といった研究に取り組んでいる。こうした研究を後押しし、新たなスマホ・タブレット端末の発信機能、飲料

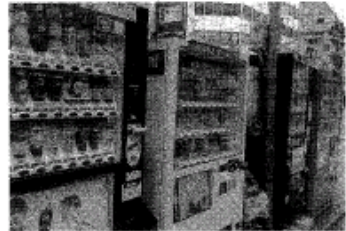
デルの確立を目指す。例えば、地域の掲示板機能では地域の商店街など、どこでも自販機にアクセスできるという可能性を探る。また広告媒体とし

食品や商品の割引クーポンの発行機能なども搭載し、スマホでダウンロードするといった可能性を探る。また広告媒体とし

自販機の社会インフラとしての活用を模索

↑
の活用、商品購入時のポイント付与などを検討する。NTTドコモやKDDIなど携帯電話キャリアなどとも意見交換し、自販機の有機的な活用を模索する。

また、同工業会の会員企業では加齢に伴う身体的な運動不足を解消する目的で、自販機の活用を模索する。これまで同工業会では加齢に伴う身体的な運動不足を解消する目的で、自販機の活用を模索する。



歯科医・診療所向け EN情報システム

デジタルサイネージ(電子看板)を利用した防災情報を提供し、緊急災害時の情報発信メディアとして活用します。
さらに、自動販売機に緊急災害時の救援機能を持たせます。

災害情報

地震到達予測

津波到達予測

表示コンテンツ

通

常

新幹線型ニュース

健康情報

★ヘッドラインニュース★通常国会



【災害救援ベンダー】

災害や緊急事態の発生で停電になった場合でも、管理者キー操作により、非常電源より必要な電力を供給し、自動販売機庫内の商品を搬出する機能を持った自動販売機です。

設置場所にあったデジタルサイネージを選べます。



【屋外用】



【屋内用】

